

今年も椿の季節になりました。
五島列島に自生するつばきは千百万本。
上五島だけでも六八〇万本あり
全国一と言われています。
その歴史は千年以上前の
遣唐使の時代に貢物として、
椿油が送られていたと記述があるほど。
さあ、つばき散歩に出かけましょう！
あなたが見つけた
つばきスポットも教えてください。

1 わたしがみつけた椿スポット

2 椿公園（津和崎）

灯台の周りに整備された
遊歩道沿いにヤブツバキが見られます。
海を背景に椿が花咲く風景は
他ではなかなか見られない絶景です。

3 椿街道（新魚目）

県道32号線沿いには自生の椿が連なっています。
椿の向こうに広がる海とのコントラストが絶景です。

4 番岳（小串）

上五島で1番高い番岳（442.3m）の北側山頂には
姫椿（サザンカ）と
藪椿の約300本の原生林があります。
どうしてこのように椿が
多く自生したのでしょうか。

10 藪椿の原生林（若松）

樹齢70～100年の藪椿
約1,500本が自生。
また、月ノ浦には幹回りが
1.8メートルほどある
大ツバキがあり、
実は多く早くつけるが、
老木のため落ちる実が
多いといえます。

9 藪椿の群生地（高井旅）

数万本とも言われるほどの
藪椿が群生しています。
また、高井旅教会の赤い屋根と
椿の赤い花、
そして青空のコントラストも
美しい風景を作り出しています。

7 椿並木（七目）

強風時の海岸からの
吹上風を和らげるための防風林。
花が落ちた道は赤いじゅうたんを
敷き詰めたようです。

5 小さな椿（蛤）

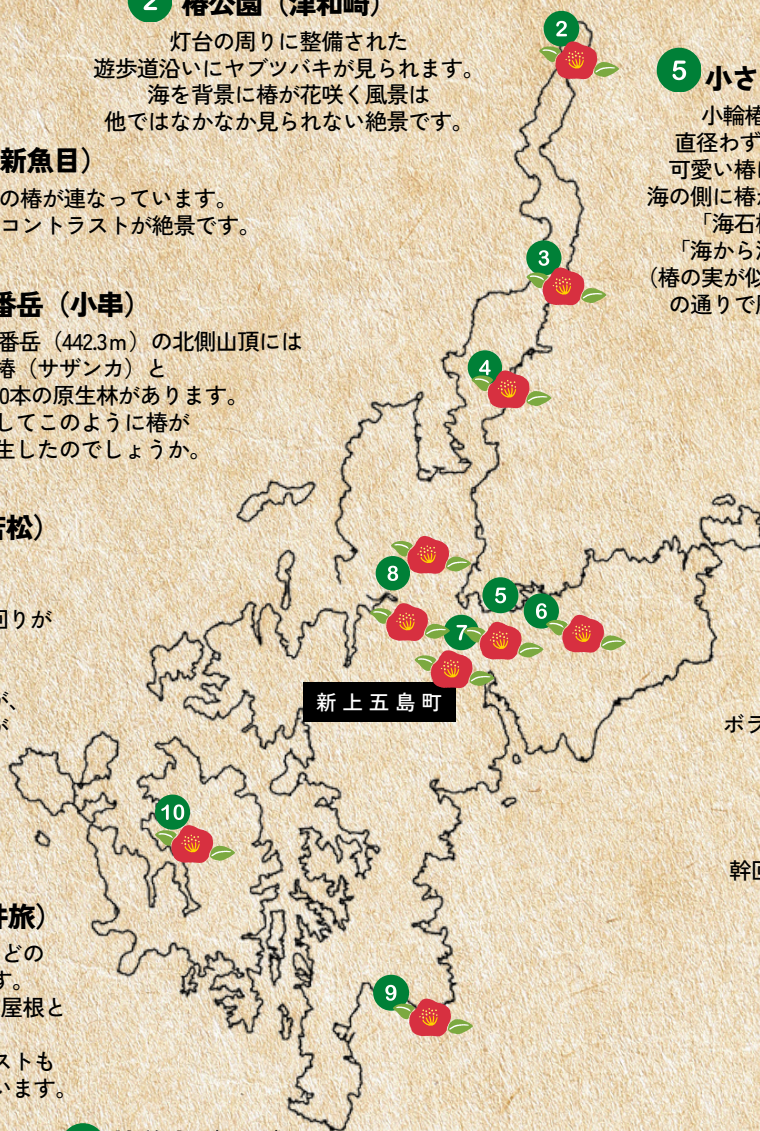
小輪椿と呼ばれる、
直径わずか3センチほどの
可愛い椿に出会えます。
海の側に椿があるというのは、
「海石榴」が意味する
「海から渡ってきたザクロ
（椿の実が似ていることから）」
の通りで歴史を感じます。

6 鯨見山（有川）

江戸時代の捕鯨が盛んだっころ
「見張所」が置かれていた場所。
展望台までの遊歩道の周囲に
ツバキがたくさん。
ピンクの椿が見られるかも？！
資生堂による椿の植林・保全
ボランティア活動が行われたのもこの場所です。

8 稗ノ口の大椿（青方）

幹回りが2メートル以上、
推定樹齢350年という大木です。
幹回りの大きさから上五島第一と言われています。
近くには樹齢250年と推定されている
兄弟椿と呼ばれる大木があります。



お願い

- 1) 場所によっては私有地内の場合がありますので、無断で立ち入らないでください。
- 2) 椿の花や枝を折るなどの行為は絶対に行わないでください。
- 3) 私有地、私道での写真、動画撮影はしないでください。
- 4) 路上や私有地への無断駐車は絶対におやめください。
- 5) お散歩中にゴミを見つけたら、ぜひ拾って持ち帰ってくださいご協力をお願いします。

椿は大切に守り続けたい私たちの宝物です。
くれぐれもマナーを守ってつばき散歩をお楽しみください